

タイトル 米戸別所得補償モデル事業の実施に伴う農業者資金繰円滑化対応

JA名 JAバンク石川

1 動機 (経緯)	21年産米の需給動向や過剰米対策に係る政策転換、米戸別所得補償モデル事業の実施等の諸情勢から22年産米の価格は大幅に値下がりしました。 米戸別所得補償モデル事業の実施により、水稻農家の収入は交付金で一定程度補償されるものの、交付金が入金されるまで、水稻農家の資金繰りが逼迫する可能性があったことから、当県では、交付金が入金される間の繋ぎ資金として、「アグリマイティ資金(戸別所得補償対応型)」を創設しました。								
2 概要	<table border="0"> <tr> <td>資金使途</td> <td>農業経営に必要な資金で、米戸別所得補償モデル対策の交付金が入金されるまでの運転資金。</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>農業者および集落営農組織。</td> </tr> <tr> <td>貸出期間</td> <td>1年以内。</td> </tr> <tr> <td>貸出限度額</td> <td>原則として、米戸別所得補償モデル対策の交付金額の範囲内。</td> </tr> </table>	資金使途	農業経営に必要な資金で、米戸別所得補償モデル対策の交付金が入金されるまでの運転資金。	対象者	農業者および集落営農組織。	貸出期間	1年以内。	貸出限度額	原則として、米戸別所得補償モデル対策の交付金額の範囲内。
資金使途	農業経営に必要な資金で、米戸別所得補償モデル対策の交付金が入金されるまでの運転資金。								
対象者	農業者および集落営農組織。								
貸出期間	1年以内。								
貸出限度額	原則として、米戸別所得補償モデル対策の交付金額の範囲内。								
3 成果 (効果)	5件 12,863千円								
4 今後の 予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動 ・農家戸別所得補償制度への対応 								